

医系総合大学の特色を活かした学部連携教育

医学部、歯学部、薬学部、保健医療学部からなる医系総合大学の利点を生かし、チーム医療に積極的に貢献できる医療人を養成するために、「学部連携教育」を行う。1年次は、チーム医療の基盤作りとして、学部連携の初年次体験実習やPBLチュートリアル、「在宅医療を支えるNBMと倫理」TBL、2、3、4年次は医療・福祉におけるチーム医療のプロセスの体験実習と学部連携PBLチュートリアル、「在宅医療を支えるNBMと倫理」TBL、5、6年次は、大学内外の医療施設や地域社会での実践的なチーム医療学習を、いずれも4学部連携カリキュラム（多職種連携教育、inter-professional education: IPE）として実施する。歯学部では、従来から行っている6年一貫の「社会と歯科医療コース」と連携して、「社会と歯科医療・チーム医療コース」として教育を行う。

初年次体験実習 1年次の全寮制の環境を活かした早期体験実習として、4学部合同の学生グループで、①病院見学、②福祉関連施設体験、③AED+心肺蘇生および外科的救急処置の実習を行う。

医療・福祉におけるチーム医療のプロセスの体験学習 歯学部では、1年次、3年次、5年次に「地域連携歯科医療実習」を行い、地域の歯科診療所で地域包括ケアを学ぶ。「福祉・健康とコミュニケーション」では2年次で、高齢者の福祉制度を学び、その生活の場で口腔のケアを実習する。3年次は地域保健の場における口腔保健活動「オーラルフィジシャンの基盤Ⅱ」で一般病院病棟におけるチーム医療を体験する。

学部連携PBL(Problem-based learning)チュートリアルによる問題解決型学習 4学部合同の学生グループによる学部連携PBLチュートリアルを1・3・4年次（保健医療学部は1・2・3年次）に実施する。内容は学年に従い徐々に臨床の場面設定に近づける累進型としている。1年次には身近な話題をテーマとしたPBLチュートリアル、3年次（保健医療学部2年次）には患者症例をもとにした臨床シナリオ・PBLチュートリアル、4年次（保健医療学部3年次）は、病棟カルテなどの資料を用いた病棟実習シミュレーション・PBLチュートリアルを実施する。

学部連携「在宅医療を支えるNBMと倫理」TBL(Team-based Learning) 4学部合同の学生グループによる学部連携「在宅医療を支えるNBMと倫理」TBLを1・2・4年次に実施する。1年次は認知症を抱え、田舎で一人暮らしの祖母、2年次以降は認知症と身体疾患を抱えた祖母をテーマにNBM（ナラティブ・ベースド・メディシン）と医療倫理について学ぶ。また「在宅医療を支える基本技能」を3年次に学部連携で学ぶ。

学部連携病棟実習 医・歯・薬学部6年生、保健医療学部理学療法学科3年生、看護学科・作業療法学科4年生の学部合同チームが同じ患者を1週間担当する学部連携病棟実習を、附属7病院の約40病棟で実施する。

学部連携地域医療実習 医・歯・薬学部6年生、保健医療学部4年生の選択実習として、在宅医療を中心とした地域におけるチーム医療の臨地実習をする学部連携地域医療実習を実施する。

昭和大学の体系的なチーム医療学習のカリキュラム

